

令和4年度の年金広報計画（厚生労働省）

資料1－1

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和4年度の取組み

令和元年度に掲げた基本哲学を踏襲しつつ、以下の4本柱で展開

1. 令和2年改正年金法の広報

- ・ 令和4年10月及び令和6年10月に予定されている短時間労働者への被用者保険の適用拡大
→ 特設サイト・ガイドブック・チラシ・動画などの広報コンテンツを活用し、効果的な広報を実施

2. 個々人の年金の「見える化」

- ・ ①令和2年改正年金法を分かりやすく周知すること、②働き方・暮らし方の変化に伴う年金額の変化を「見える化」することを目的として、「公的年金シミュレーター」のサービスを開発（令和4年4月下旬公開予定）
→ 利用状況や運用実験等を踏まえ、UXを向上するためのWebサイトの改善を継続的に実施
→ 使い方動画・ガイドブック・チラシ・周知用動画を活用した広報で利用促進

3. 若年世代向け学習教材の実用化

- ・ 公的年金制度の仕組みをわかりやすく、正確に理解するための教育コンテンツの実用化
→ 令和3年度に開発した若年世代向け年金学習教材を中学・高校の現場でより実践的に活用されるようモデル授業等を通じて改良。年金クイズ動画や公的年金シミュレーターも組み合わせ、教育コンテンツとしてホームページに掲載。

4. 若年世代向け参加型広報の訴求力強化

- ・ 国民1人1人が参加して、年金制度の意義や仕組みの理解を深める広報の訴求力を強化
- (1) 第4回令和の年金広報コンテストの開催
→ 周知広報の強化・応募のハードルを下げるための見直し
- (2) 学生との年金対話集会の実施
→ 日本年金機構や地方厚生局など関係機関との更なる連携を視野

令和4年度における年金制度に関する周知・広報の主な取り組み

1 令和2年改正年金法の広報

令和4年10月及び令和6年10月に予定されている短時間労働者への被用者保険の適用拡大に向けて、特設サイト、ガイドブック、チラシ、動画などの広報コンテンツを活用し、効果的な広報を実施



(令和2年度制作)

2 個々人の年金の「見える化」

①令和2年改正年金法を分かりやすく周知すること、②働き方・暮らし方の変化に伴う年金額の変化を「見える化」することを目的として、「公的年金シミュレーター」を開発（令和4年4月下旬公開予定）。利用状況や運用実験等を踏まえ、UXを向上するためのWebサイトの改善を行う。使い方動画・ガイドブック・チラシ・周知用動画を活用した広報で利用を促進。



3 若年世代向け学習教材の実用化

令和3年度に開発した若年世代向け年金学習教材を中学・高校の現場でより実践的に活用されるようモデル授業等を通じて改良。年金クイズ動画や公的年金シミュレーターも組み合わせ、教育コンテンツとしてホームページに掲載。

小学生向け

中学生向け

大学生以上向け

<学習マンガ>
(令和2年度制作)

<クイズ動画>
(令和2年度制作)

<学習教材>
令和4年度制作予定

より実践的に改良

財政検証HPの
リニューアル

4 若年世代向け参加型広報の訴求力強化

■ 年金広報コンテスト

次代を担う若い世代と一緒に年金について考えることを目的に第4回「令和の年金広報コンテスト」を開催。
→周知広報の強化・応募のハードルを下げるための見直しを行う。

<第3回大臣賞受賞作品>



■ 「学生との年金対話集会」

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生に年金について考えてもらうとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かしていく。
→日本年金機構や地方厚生局など関係機関との更なる連携を視野。



（参考 1） 今後の年金広報の方向性

年金広報をめぐる環境変化を踏まえつつ、一人ひとりの選択を支援し、適切な行動を促す役割を果たすためには、今後、年金広報の改善に取り組んでいく必要

1. 技術革新への対応、きめ細かさ・わかりやすさの改善等

- ・ 適切な選択に資するような、わかりやすい広報を追求
- ・ 新しい手法の活用等により、一人ひとりの多様な状況（世代や職業など）にきめ細かく対応した情報提供等を実施し、さらに行動を支援

2. 公的年金と私的年金を合わせた総合性の強化

- ・ 公的年金・私的年金やその他の資産形成手段について、幅広く情報を提供し、自分に相応しいものを選択できるようにする
- ・ 行政内部だけでなく金融機関なども含めて、連携体制の構築を図る

3. エビデンスに基づいた広報のあり方

- ・ 一人ひとりのニーズを正確に把握した適切な行動につなげる

4. 効果把握・PDCAサイクルの強化

- ・ 広報が適切な選択・行動につながったかを把握し、PDCAによって絶え間なく手法等を改善

(参考2) 令和4年度 学生との年金対話集会

■ 趣旨

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生が年金について考えるきっかけにするとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かす。

■ 概要

- ・ 全国各地の大学などで開催（対面／オンライン開催）
- ・ 年金制度の説明を行った後、座談会形式で年金をテーマに学生と職員が意見交換
- ・ 開催後、厚生労働省ホームページや大学・市町村の広報誌等で様子を公表

■ 応募期間

- ・ 令和4年6月1日（水）～令和5年3月31日（金）

■ 開催実績

- ・ 令和3年度：大学24校、中学・高校4校

（令和元年度：大学6校、令和2年度：大学9校）

- 5月14日 名古屋大学（オンライン）
- 5月18日 一橋大学（対面）
- 5月20日 お茶の水女子大学（オンライン）
- 6月8日 上智大学（オンライン）
- 6月10日 北海道大学（オンライン）
- 6月17日 東海大学（オンライン）
- 6月21日 熊本大学（オンライン）
- 6月28日 帝京高校（対面） ★
- 7月2日 帝京大学（対面）
- 7月5日 市川市立第二中学校（対面） ●
- 7月7日 愛知県立大学（対面）
- 7月8日 愛知学院大学（前半：オンライン、後半：対面）
- 立教大学（対面、オンライン）

- 7月12日 市川市立塩浜学園（対面） ●
- 7月13日 成城大学（オンライン）
- 7月15日 盛岡大学（オンライン）
- 8月11日 角川ドワンゴ学園（N/S高等学校、N中等部） ★●（オンライン）
- 10月29日 東北大学（対面）
- 10月29日 広島県立大学（オンライン） ※合同開催
- 京都産業大学（オンライン）
- 11月4日 早稲田大学（対面）
- 11月10日 大妻女子大学短期大学部（対面）
- 11月19日 亜細亜大学（対面）
- 12月3日 福岡大学（オンライン）
- 12月14日 東北公益文科大学（オンライン）
- 12月17日 東京大学（オンライン）
- 1月20日 埼玉大学（オンライン）
- 1月21日 立教大学（オンライン）

- 中学校
- ★ 高校